

令和6年度 第2回博物館協議会 議事録

日 時：令和7年2月13日（木）14：00～15：05

場 所：八戸市博物館 2階 体験学習室

出席委員：7名

工藤竹久会長、滝尻善英副会長、元沢弘委員、有馬克美委員、平間恵美委員、
新山聡委員、高橋英臣委員

事務局：6名

小保内博物館館長、佐々木博物館副館長、下村南郷歴史民俗資料館長、
米田主査、野沢主査兼学芸員、小林主査兼学芸員

次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 案件
 - (1) 令和6年度事業実施報告について
 - (2) 令和7年度事業計画について
 - (3) その他

※1～2省略

3 案件（1）令和6年度事業実施報告 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

事務局から令和6年度の事業報告がありましたが、このことについてご質問はございますでしょうか。

●委員

これまでの企画と違ったものとして、今年度は新収蔵資料展をⅠ期とⅡ期に分けて行ったわけですが、従来のやり方と比較して、評価できる点、今後も継続するかといった点について教えていただければ。

○事務局

今回、新収蔵展を2回に分けたのは、前年度の寄贈点数が多かったということが大きな理由になります。いつもであれば展示スペースがぎちぎちになるわけですが、2回に分けたことで余裕をもって展示できたということは評価できる点でございます。

今後も2回に分けて開催するかという点については、前年度にどの程度の寄贈点数があるかによるところですので、その都度判断することになると考えております。

●委員

資料2ページに体験学習会「はじめてのなぎなた」とありますが、このイベントには35人も参加されている。このほか、根城SHOW TIME、戦国ファッションショーとありますが、それぞれ事業内容をお知らせください。

○事務局

体験学習会のなぎなたは、特別展で女性をテーマに取り上げたこともあり、昔の女性が身に着けたなぎなたを皆さんに体験学習という形で学んでいただくということで、なぎなた連盟の八戸支部の方にお越しいただいて開催しました。1回目は根城の広場、2回目は公民館でやりました。

根城SHOW TIMEは、キャラクターショーと戦国ファッションショーの2本立ての構成で、戦国ファッションショーの方は千葉高校さんと共同事業で作った中世の衣装のお披露目を今回はファッションショー形式でご紹介しました。キャラクターショーは、プリキュアの着ぐるみショーを午前・午後の2回行いました。特別展でテーマにした戦う女性をプリキュアショーの中で表現しつつ、展示は大人向けの内容になっていますので、

小さい子どもを連れた家族にも楽しんでいただくという趣旨で開催したものです。

●会長

ありがとうございました。これは来年度以降も続けられそうな事業なのですか。

○事務局

今回の特別展にあわせて開催したものですので、来年度は実施しません。

●委員

以前から「展示パネルにはできるだけルビをふってほしい」と要望しておりましたが、今年度は職員の皆さんが意識して対応していただいているようでありありがとうございました。あと、特別展の併催行事や体験学習会が盛りだくさんで、若い人たちも参加できるイベントが増えていい感じだなあと見ていました。参加者もまずまず入っているようでよかったですと思います。

新収蔵展については、寄贈される方も寄贈点数も多く、「こんなお宝を持っている人がいるのか」と感心しながら拝見していました。テレビではなんでも鑑定団という番組が長く続いていますけど、私たちのような高齢者は、断捨離というか、そろそろ後片付けをしないと考えることもよくあります。

博物館の役割には、文化財の保存・収集がありますが、鑑定団の話題に絡めて考えると、持ち主にとっては不要だけど、文化的な価値があるような物の受入れ窓口としての役割もあるように思います。

博物館側にも人員的、時間的な制約はあると思いますので、物の受入れを相談できる日を設けてくだされば、私自身の片付けの参考になるのかなと想ったりしていました。

●会長

ありがとうございました。今の発言について何かありますでしょうか。

○事務局

八戸市内の古美術商がことごとくお辞めになって、現在営業している店は0件。古美術を扱っている店は2件ありますが、ほぼ機能していない状態で、一般の方が相談する場所がなくなっているのが現状です。

これまで経験した中で物を捨てるか捨てないかの判断のために、価値があるかどうかを聞きに持ってくるという方がいます。こちらは寄贈するという意思があったうえで見るならいいのですが、ただ鑑定してくれみたいになるパターンもあってそれはちょっと

なかなか人員を割くのが難しい。そういったことをもしやるのであれば、期間限定にするとか、年数回のイベントにするとか、普段はやっていないけれどこの時だけ特別ですということであればいい気がします。

ただ、今でも江南小学校、旧中野小学校、旧田代小学校などに文化財を分散収蔵している状況ですので、受けたはいいが、それをお披露目するところまではなかなかたどり着かないと考えています。いろいろな課題はありますが、時間がかかってもなるべく直接見て受入れの判断をするという姿勢は保ち続けたいと思っています。

●会長

確認ですが、分散収蔵しているのは江南小学校とどこになりますか。

○事務局

旧田代小学校、旧中野小学校。それから島守旧保育所、島守旧児童館です。

●会長

ずいぶん分散収蔵が増えていましたね。分かりました。

●委員

新収蔵展の時などに「うちにもこういう物があるのだけど」と考える人がいると思うので、そういった相談に対応できる方が一定期間いるような状態を考えてもらってもいいのかなと。

ほかの博物館でやっているという話は聞いたことがないので、さきがけてやることで一般の方に親しみをもってことができるのではないかと考えています。

○事務局

どうしても金額的な評価を聞いてくる方がいらっしゃいます。全国の博物館がやらないのは、我々は鑑定や査定の機関ではないので、金額的な評価はつけられないということにあります。価値があるかは判断できるけれども、鑑定団ではありませんので金額まではお答えできない。その点がネックかと思います。

●委員

最初からお断りすればいいのではないですかね。鑑定はできませんのでと。

●会長

続いて、南郷歴史民俗資料館の事業報告について、何かご意見ございませんでしょうか。

●委員

資料 11 ページの民俗講座ですけど、館外講座は安定して人が集まっているのですが、参加者は大半がリピーターですか。

○事務局

館外講座につきましては、リピーターの方が大半といってもいい状況です。割合でいえば 10 人中 2 人、3 人が新規です。バスの都合もあって、どうしても平日にやらざるを得ないこともあります。そうした日程でも時間が取れる方が中心にリピーターとなっている状況です。

●委員

人気があるということですね。内容が充実しているから。

○事務局

そうだと思います。

●会長

希望者が定員を超えるようなことは。断ることはしていない。

○事務局

実はしております。定員を超えるとバスの乗車が難しくなりますので、やむを得ずお断りすることもあります。コロナの時から定員を 10 人に絞っておりますが、来年度以降は 20 人に戻そうかと思っています。

●会長

あと何かございませんでしょうか。なければ令和 7 年度の事業計画に移ります。

3 案件（2）令和7年度事業計画について 質疑応答

（事務局説明後、質疑応答）

●会長

事務局から令和7年度の事業計画について説明がありましたが、今の説明に対して、何かご質問ございませんでしょうか。

●委員

リニューアルで10月6日から休館ということになっていますが、博物館の全部が休館ですか。事務所はそのままということですか。

○事務局

どの部分が閉まるのかといった細かい部分につきましてはこれから検討に入るところです。本当であれば皆さんに改修案の図面を出したいところなのですが、予算案が議会議決前ですので、もう少し明らかになった時点でお知らせしたいと思います。

今協議している中で、空調の改修に関しては、工事期間中、収蔵庫や特別展示室といった範囲は限定的なのですが、空調が一時的に停まる部屋が出ることが分かりました。また、キュービクルの入れ替え工事では、作業中、全館が停電となる見込みです。この停電が一時的なものか、ある程度長期的なものかといった細かいところは、今後、建築住宅課と協議をして、具体的な休館の範囲や期間、それぞれの場所でどうなるかということを決める作業に入ります。

ちなみに図書館の空調工事では、図書館を全部閉めて職員も一旦市役所に引っ越すという方法をとったのですが、実は冷暖房がない中でも一部の職員は残っていて、とりわけ歴史資料グループは中で作業を続けていました。私たちもそういう形になるのかなあと予想しています。

●会長

学校関係では新年度の事業計画早く立ててくると思うのですが、そこでの調整があるのでは。

○事務局

学校行事につきましては12月の段階で決めていると思います。これから小中学校にアナウンスしていきますが、休館に伴い休止する事業は「学校側が博物館に来ないとできないもの」、継続する事業は「こちらが出向いてやるもの」と考えていただければと思います。

博物館に見学にくる予定がダメになった場合、見学先を変えるか、私たちが学校に向いて体験学習講座を行う。その二択になると思います。

●会長

博物館活動をなるべく外に展開してほしいという思いもありますので、こういった機会を生かしてくれればいいですが、他にありますか。

●委員

リニューアルの件は、これから細かいところが決まってくるということですね。学芸員の皆さんはご存知かと思いますが、昨年、リニューアルした仙台市博物館に足を運んできました。そこで感動したのが、壁面ケースにガラスの継ぎ目がないことでした。普通、博物館の壁面ケースはガラスが引き戸のように2枚になっていますが、それがなかった。ガラスとガラスが重なり合う部分は見にくいのですが、継ぎ目のない一枚のガラスだとそのようなこともなく、見る側としても非常に見やすかったです。そこまでは予算があるかは分かりませんが、そういうことを感じてきましたので参考までにお知らせします。

○事務局

きんそうしがみさんるいかんとうたちつかがしら

常設展示室に丹後平古墳から出た重要文化財、きんそうしがみさんるいかんとうたちつかがしら金装獅嚙三累環頭大刀柄頭を4面の行灯ケースに展示していますが、これを入れているケースは気密性が高いエアタイトケースになります。これを購入した6年前は600万円でしたが、物価高騰の影響を受け、現在は約2倍の価格になっています。

常設展示室に入ると右と奥に壁面ケースがあります。今、委員が発言されたように、ケースの中央にガラスの扉が交差する部分があって、職員はそこを動かして中に入る仕様になっています。今はどの博物館も継ぎ目のない密閉型のケースが主流で、ケースの一番端の扉から中に入って物の入れ替えをします。こういう密閉型のケースをエアタイトケース、もしくはセミエアタイトケースと呼びますが、これが高い。ノンエアタイトになれば価格は半額程度まで落ちます。今回のリニューアルでは予算があまりないので、エアタイトにはなかなかできないだろうと考えています。

●会長

常設展示室の展示構成を変えるとかそこまではどうですか。

○事務局

こちらはリニューアルするつもりでいます。予算の枠が大体分かってきましたので、その範囲内で何ができるか検討しているところです。

○事務局

展示ケースの件で補足です。私たちも当初は委員が発言されたエアタイトケース、セミエアタイトケースへの更新を想定して準備を進めてきました。ただ、予算の概要が分かり、そのような選択をとれないようなので、仕様を落とすことになるのですが、現在のケースよりは継ぎ目など目立たないものになる予定です。

現在の壁面ケースはガラスが大きいものだと1トンの重量があります。開館から40年が経ち、重みに耐えられなくなっているため、来館者の安全を最優先に考え、早急にケースを取り替える考えでおりますが、エアタイトケースに比べると仕様は落ちます。

ただ、今回のリニューアルでは、民俗展示室を出た渡り廊下のところに自動扉を取り付ける改修も行いますので、以前よりは常設展示室全体の温湿度管理が安定する見込みです。

●委員

期待しております。よろしく願いいたします。

●会長

学芸員の皆さんはこういった大きな事業に出会うのは多くないですね。どうしても業者さんの説明に引っ張られてしまうというのはあるので、広く勉強をして、なるべく予算抑えた中身のある工事になるように考えてもらえるといいと思います。たくさん勉強が必要になると思いますのでよろしく願いいたします。あと何かありますか。

●委員

リニューアルに関連したお話で、前の協議会の時に発言させてもらいましたが、音響機器の改善はどのようにお考えでしょうか。講演会の受講者は高齢者が多く、みんな耳が遠くなってきているので、もう少し音質の良い音響機器をそろえてもらえればと思っています。

○事務局

こちらは予算次第でございます。

●会長

ほかに何かございますか。

●委員

リニューアルで博物館が新しくなったらすごく楽しみだなというのと、公共工事ですので、いろいろな面で予算的な制約も受けるのではと思っています。私たちの小学校も全教室雨漏りしている状況ですが、なかなか予算が取れなくてジレンマを感じています。

●委員

リニューアルで来年から休館するということで私も今聞いて少しショックというか、夏休みのうち見ておいてと中学校では呼びかけたいと思います。また、教員のほうにも長期間リニューアルの工事に入ることなので、博物館の施設を早めに回って勉強するようにと呼び掛けていきたいと思っています。

●会長

ありがとうございました。本日の案件は終了いたしましたので、会議の進行を事務局にお渡ししたいと思います。（以下、事務連絡等）